

聖マリアンナ医科大学病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、川崎市立多摩病院

「院内救急対応システム（Rapid Response System :RRS）の効果的活用に向けた臨床情報・バイタルサインの特徴量に基づく院内急変予測モデルの構築」について

（1）研究の目的

病棟での患者さんの予期せぬ有害事象を防ぐ目的で、院内救急対応システム（RRS : Rapid Response System）が世界各国で広く導入されており、その有効性が示唆されています。しかし、起動率の観点から有効に活用されていない可能性があり、客観的・自動的に急変の予兆を捉え、能動的に RRS を起動するシステムの構築が世界的にも注目されています。日本における RRS の起動率は特に低く、急務の課題と言えます。本研究では、一般病棟に入院された全患者さんのバイタルサインに着目し、どのような数値、または時系列的变化が院内の有害事象の前兆として検出されているのか、その特徴量やタイミングを臨床情報と併せて探索します。また、これらを用いて予測モデルの構築を行い、自動的に RRS を起動するシステムを開発することで、より円滑かつ有意義な RRS の活用を行い、病院内における患者安全を目指すことを目的とします。

緊急対応を行う際のデータ利用であり、全ての診療科にまたがる症例が対象である事などから、同意取得が困難、かつ公衆衛生上の必要性が高いと判断し、本研究を実施いたします。

（2）研究対象について

2019年1月1日～2022年3月31日に聖マリアンナ医科大学病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、及び川崎市立多摩病院に入院された15歳以上の患者さんです。

年齢、性別、身長、退院、転棟、もしくはアウトカム発生前の各バイタルサインのデータ、入院情報（日時、病棟、入院科、救急車使用の有無、予定/緊急入院の種別）、退院情報（退院時病棟、転帰）や病棟間移動、移動先、手術の有無、ICU入室の有無、入院時手病名、併存疾患、DNAR オーダーの有無、また予期せぬ院内死亡・院内心停止・ICU転棟の有無が記録されます。本研究は純粋な観察研究であり、患者さんにいかなる利益・不利益が生じることはありません。

（3）個人情報等の保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

（4）研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※ この研究の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は

2023年12月31日までに下記連絡先までご連絡下さい。 研究への参加を希望されない患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター

住 所：〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

電 話：044-977-8111 (代)

担当医師： 藤谷茂樹 PHS 81080

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター

住 所：〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指朝 1197-1

電 話：045-366-1111 (代)

担当医師： 谷井梨美 (PHS 8323)

川崎市立多摩病院 救急災害医療センター

住 所：〒214-8525 神奈川県川崎市多摩区宿河原 1-30-37

電 話：044-933-8111 (代)

担当医師： 田中 拓 PHS 8071